

理系的発想からはじまる文学賞

第14回  
日経

# 星新一賞

応募期間

7月1日(水)  
～10月6日(火)  
17:00まで

一般部門

課題

あなたの理系的発想力を存分に発揮して  
読む人の心を刺激する物語を書いてください。

規定字数：10,000文字以内 副賞：100万円

ジュニア部門

【対象】中学生以下

課題

100年後の未来を想像して  
物語を書いてください。

規定字数：5,000文字以内 副賞：図書カードNEXT10万円分

審査員（順不同）

右記の方々に加え、  
日本経済新聞社  
編集委員兼論説委員  
矢野寿彦が審査を行います。



北川 進  
京都大学高等研究院 特別教授



鳥澤 健太郎  
情報通信研究機構 (NICT) フェロー



新井 素子  
SF作家



梅津 理恵  
東北大学 金属材料研究所 教授

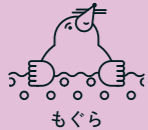


榎 太一  
同志社大学 助教 / キャスター

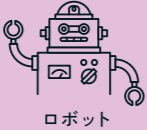
発想のテクニック

1 2つのものを組み合わせてみよう！

たとえば・・・



もぐら



ロボット



花が大好きなハナコちゃんは、もぐらをならして花をたくさん咲かせたいと思い、その願望を絵に描く。ところが、絵を偶然手にしたある人物は、勘違いが原因でロボットもぐらを作りはじめてしまい、事態は思わぬ方向に・・・。

★読んでみよう！「花とひみつ」（星新一著 角川文庫刊「きまぐれロボット」所収）

2 身近にあるものの、ずっと未来を考えてみよう！

たとえば・・・ 100年後の家は？



全ての動作を自動でサポートしてくれる未来の家に住むテール氏。朝、なかなか起きない彼のために、ハイテク装置は会社に行く準備をはじめてくれるが・・・。

★読んでみよう！「ゆきとどいた生活」（星新一著 新潮文庫刊「ポッコちゃん」所収）

公式サイトでも発想のテクニックを動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

応募要項や応募先 ..... <https://hoshiaward.nikkei.co.jp/>

お問い合わせ ..... 日経「星新一賞」事務局 03-5443-0906（土日祝日・年末年始を除く10:00-18:00）

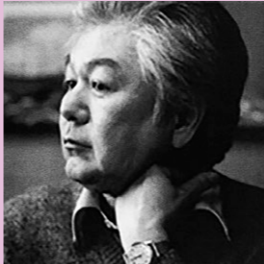
過去受賞作品は「honto」で無料ダウンロードできます。 ..... <https://honto.jp/>



主催 日本経済新聞社 後援 文部科学省 協賛 AMADA



星ライブラリ/小松左京ライブラリ/一般社団法人 日本SF作家クラブ/一般財団法人 SFミュージアム/エヌ氏の会/きまぐれ人工知能プロジェクト 作家ですのよ/独立行政法人 国立科学博物館/一般社団法人 情報処理学会/一般社団法人 人工知能学会/公益財団法人 せたがや文化財団 世田谷文化館/一般社団法人 日本ロボト学会/特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会/国立大学法人 お茶の水女子大学/公立大学法人 公立はこだて未来大学/独立行政法人 国立高等専門学校機構/国立大学法人 東京科学大学/学校法人 桑沢学園 東京造形大学/国立研究開発法人 情報通信研究機構(NICT)/株式会社 日経サイエンス/電気通信大学 人工知能先端研究センター/第64回日本SF大会HELLCON/作家養成塾 文想/慶應義塾大学サイエンスフィクション研究開発・実装センター



星新一（1926-1997年）

ショートショートというスタイルを確立し、生涯に1000編以上の作品をのこしたSF作家。代表作に「ポッコちゃん」「おーい でてこーい」「きまぐれロボット」など。「妄想銀行」（および過去の業績）で日本推理作家協会賞受賞。映像化作品、海外翻訳作品多数。

生涯で1000以上もの作品を生み出した星新一。

その中には、理系的な発想力によってつくられた物語が数多くあります。

「理系文学」ともいえるそれらの作品は、文学としての価値のみならず、

現実の科学をも強烈に刺激してきました。

すぐれた発想は、いまでも読み手の心をくすぐり、次なる発想を生みだしているのです。

今、日本に必要なのはこの圧倒的想像力。

我々は「理系文学」を土俵に、アイデアとその先にある物語を競う賞、

日経「星新一賞」を開催します。

応募要項

【全部門共通】

- 応募部門は、一般部門、ジュニア部門の2部門です。
- 応募原稿は、日本語原稿のみとします。日本語を含めた各言語において未発表作品に限ります。不特定または特定多数が閲覧可能な状態におかれた作品は「発表済み作品」とみなします。また、映像や音声、ゲームなど別の形態で発表したものをもとに制作した作品も「発表済み作品」とみなし、失格する場合があります。不明な点は事務局にご相談ください。
- 人間以外（人工知能等）の応募作品も受け付けます。ただしその場合は、連絡可能な保護者、もしくは代理人を立ててください。
- 第14回は、一般部門、ジュニア部門ともに1人1作品までの応募とします。
- 一般部門は郵送での応募は一切行っておりません。電子ファイルでのみ応募可能です。日経「星新一賞」公式サイトのお申し込みから送付してください。ファイル形式は Microsoft Word、テキスト（.doc/.docx/.txt/.rtf）のみ受け付けます。フォーマットは縦書きを推奨とします。
- グループによる共同作品の応募や学校単位での参加を認めます。複数の執筆者による共同作品の場合、応募フォームには代表者1名の情報を記載し、ペンネームの欄にグループ名を記載してください。ジュニア部門への応募については、グループメンバー全員が締切時点で応募基準を満たしていることが条件となります。
- 他の文学賞等との二重投稿はご遠慮ください。
- 応募資格で、プロ・アマチュアは問いません。
- 第14回は、過去に日経「星新一賞」にて一般部門グランプリを3回受賞された方は応募できません。
- ふりがなは、文字数に含まれません。
- 作品とは別に、必ずあらすじをご用意ください。電子ファイルでの応募およびジュニア部門の郵送ともに200文字程度をお願いします。あらすじは、作品の文字数に含まれません。
- 応募フォームにはすべての項目をご入力ください。なお審査の過程では、公平を期すために審査員への個人情報の開示は一切行いません。
- 原稿ファイルはパスワードをかけずにご応募ください。パスワードがかかっていた場合、審査対象外となります。
- サイト上に掲載している作品のURLを応募原稿に記載することは禁止します。
- 応募した作品の修正や出し直しは不可といたします。
- 応募時に記載いただいたペンネームの変更はできません。
- 作品中で実在する企業名、本人が特定できる個人名を使用するのはご遠慮ください。地名などは使用可能です。（東京、アメリカなど）
- 作品の最後は、<終>または<了>を必ず入れてください。
- 作品のファイル容量は2MB以下までとなります。それ以上のファイルサイズは応募できません。
- 応募作品内には、作品名と本文のみ記載し、作者名などの個人情報は一切記載しないでください。
- ご応募いただくファイル名は作品名のみを記載してください。
- 受賞作発表後でも、故意でなくとも著作権侵害が明らかになった場合は、受賞の取り消し、電子書籍からも削除となる場合があります。
- 国内法を遵守の上、ご応募ください。

【一般部門】

- 文章量は、10,000字以内とします。下限はありません。

【ジュニア部門】

- 文章量は、5,000字以内とします。下限はありません。
- ジュニア部門は、「公式サイトから送信」もしくは「郵送」のいずれかの方法で応募いただけます。
- 郵送応募の際は以下の項目を必ず表紙に記載、または応募シートをご記入ください。
  - ①氏名/代表者名、②ペンネーム(氏名と同じ場合は記入不要)、③グループ名、④生年月日/年齢、⑤保護者の氏名、⑥電話番号、⑦メールアドレス、⑧学校名、⑨在住の都道府県(海外の場合は国名)、⑩日経「星新一賞」を知ったきっかけ、⑪作品タイトル、⑫あらすじ(200文字程度)
- ※⑩、⑫については別紙をご用意ください。
- なお審査の過程では、公平を期すために審査員への個人情報の開示は一切行いません。
- 郵送作品はホチキス禁止となっております。クリップ止めを推奨します。
- 郵送作品に使用する鉛筆の濃さは2B以上とします。
- 原稿用紙にて応募された作品は、いかなる場合も返却いたしません。
- 必要な方は、郵送前にコピーをおとりください。
- 締切日は郵送によるご応募の場合も10月6日(火)必着とします。ただし、学校等の団体がとりまとめて複数作品を郵送にて応募する場合は、10月1日(木)必着となります。
- 郵送先：〒105-0014 東京都港区芝2-22-15 STKビル6F 日経「星新一賞」事務局

【生成AIを利用した応募について】

- 利用する生成AIおよびツール（※ソフトウェアおよびアプリケーションなど）の利用規約・ライセンスに従って応募してください。生成AIおよびツールの利用規約・ライセンスが作品をコンテストに応募したり、作品をインターネット公開、書籍化、電子書籍化、映像化、海外翻訳、商用利用したりすることを禁止している場合、応募できません。ジュニア部門では、利用する生成AIサービスの年齢制限にも注意してください。
- 著作権を侵害してしまう可能性を避けるため、下記の行為は行わないでください。
  - ・許可なく特定の作者や作品を重点的に学習させた特化型AIは利用しないでください。
  - ・他の著作物、および作家名や作品名を生成AIの入力に使用しないでください。
- ※上記に類似する行為も失格となる可能性があります。
- 「プロンプト(AIに対する指示)」および「プロンプトによって導き出された文章」の「原文」、利用したツールの情報、そのほか生成時に使用したデータ（参照したテキストなど）は、審査の過程で提出していただく場合がありますので、必ず記録してください。
- ※記録を取っておらず該当資料を提出できない場合、または説明が不十分であると事務局が判断した場合は失格となります。
- AIが生成した文章はそのまま利用せず、人間が加筆・修正してください。加筆・修正した前後の文章は必ず記録してください。そのほか、創作的寄与を加えるように努めてください。例えば、具体的な指示をする、生成物を確認して入力修正する試行を繰り返す、複数の生成物から選択する、生成された文章に人間が加筆・修正するといった行為を十分に実施することが望ましいです。
- 応募作品が既存の著作物を流用したものではないかを、インターネット検索等を活用して、応募前に必ずよく確認してください。また、生成AIは偏見を含む表現を出力することがあるため、意図しない差別的、暴力的、性的、誹謗中傷的表現が含まれていないか必ず人間の目で確認してください。
- 応募フォームに、利用した生成AIおよび制作過程などを具体的に500文字以内でご記載ください。審査の過程で、さらに詳しくお伺いすることがあります。
- 最終選考に残ったAI利用作品は事務局で精査し、規定違反が疑われる場合には失格となります。
- 生成AI利用作品が受賞した場合には、AIの利用方法も検証可能な形で公開される場合があります。
- 生成AIを利用している作品にもかかわらず、応募フォームにその旨の記載がなく、生成AI利用が明らかになった場合は、受賞の取り消しおよび受賞作品の電子書籍からも削除となります。
- 国内法を遵守の上、ご応募ください。また本規約は、国内法やガイドラインの変更に伴って変更される可能性があります。
- 本応募規約は、文化庁主催の著作権セミナー「AIと著作権II」で解説された内容を参考にしております。

【応募の流れ】

- 締切は、10月6日(火)17:00までとします。
- 最終審査会に進出した作品名、応募番号を日経「星新一賞」公式サイトで12月中旬に発表予定です。
- 受賞作の発表は2月中を予定しています。詳細は日本経済新聞紙面、公式サイト等で発表予定です。
- 表彰式は2月下旬を予定しています。受賞された方には日経「星新一賞」事務局から個別に連絡いたします。

【注意事項】

- ※審査、審査過程に関するお問い合わせは一切応じられません。※応募された作品に、他作品からの盗用、アイデア等の盗用・模倣、本人以外の執筆・加筆、年齢・学年等の虚偽が判明した場合は、結果発表後であっても受賞を取り消す場合があります。※受賞作は、受賞発表後3年間、日本経済新聞社に対し、書籍化、オーディオ化、電子データ化、映像化、ゲーム化、海外翻訳その他の態様で利用する権利（および第三者に利用を許諾する権利）を、独占的に許諾していただきます。受賞作の利用により日本経済新聞社が対価を得た場合、作者に規定の使用料をお支払いします。※受賞作が複数執筆者による共同作品であった場合、応募時の代表者と利用許諾契約を締結させていただきます。代表者は執筆者全員から契約締結の権限を授与されていることを前提とさせていただきますので、ご了承の上、応募してください。作品の使用料も代表者の方にお支払いいたします。※作品のタイトルは、日経「星新一賞」の広告や公式サイト等の関連媒体に事前の連絡なく使用させていただく可能性がございます。予めご了承ください。※受賞作は電子データとして「日経電子版」および「honto」より無料で配信される予定です。この電子データの配信について印税は支払われません。※副賞は協賛企業の都合により、変更になる場合がございます。予めご了承ください。※本賞は、受賞者の次作以降の出版を保証するものではありません。※その他、個人情報の取り扱い、諸権利等、応募にあたっての注意事項は、公式サイトに記載しております。必ずご確認の上、ご応募ください。※「生成AIを利用した応募について」の応募要項は事前の告知をすることなく、必要に応じて変更する場合があります。

【受賞作とは】

一般部門・ジュニア部門において、最終審査にて選定された作品のうち、一般部門グランプリ、その他協賛社賞（事前の告知なく、追加する場合がございます）、ジュニア部門グランプリ、準グランプリ、優秀賞に該当した作品のことを受賞作といたします。受賞作は、日本経済新聞紙、日経電子版、日経「星新一賞」公式サイト等において発表する予定です。